



会報 まえだ 404

発行者 会長 高嶋威男
編集 竹内(と)
<http://maedacho.jp/>

年末年始のごみと資源回収について

平成29年12月31日(日)から
平成30年1月3日(水)まで、
ごみと資源物の収集はお休みですのでご注意ください。
詳しくは横浜市のHPなどでもご確認ください

焼き芋体験会は中止といたしました

11月12日に開催を予定しておりました焼き芋体験会ですが、当日の突風の影響で火災の危険を考慮して中止といたしました。

「冬の省エネ」にチャレンジしましょう

COP23 がドイツのボンで開催され、一昨年 COP21(パリ)で承認された、「今世紀末の気温上昇を2℃未満に抑えるためのCO2削減目標」を再度確認されました。我が国は2013年に比べ2030年には26%の削減目標は変わっておりません。私達も家庭から排出するCO2を削減しなければなりません。今回は12月～2月の3ヶ月間、検針票から、前年度と今年度の使用料をチェックシートに記入して、比べてみてください。チェックシートは記入後、2月末までに組長に提出してください。
(川上地域エコ活動委員会)



環境講演会「2100年9月30日の横浜の天気予報」&冬の体験キャンプ報告会

今年も我が国に上陸した台風による大雨の被害が出ました、特に、九州北部を襲った台風3号による被害は甚大でいまだ復興できていません。
このまま地球温暖化が進行しますと今世紀末には取り換えしが付かないことになると懸念されます。地球規模では異常気象だけでなく、海面上昇により沈みゆく南の島国があり、前回は現地を調査してきたフェリス学院大学の佐藤輝先生に講演をいただきましたが、今回は、NHKラジオ気象キャスターの伊藤みゆきさんに講演をお願いしています。2100年9月30日は「どんな天気予報」になるのでしょうか？今から楽しみです。前田町内会の会員は無料です。事前に申込み用紙を回覧しますので、ご希望の方は記入して下さい。大勢の参加をお待ちします。

日時：平成30年2月3日(土) 13時30分～16時
会場：男女共同参画センター横浜(フォーラム)ホール (川上地域エコ活動委員会)

食廃油 回収実績報告

10月実績	平成29年度累計
30	155

単位：リットル
廃油の回収は町内会会館前に回収ボックスを常設しています。



廃油はペットボトルに入れてそのままボックスに入れていただくだけでOKです。なお、回収した廃油はリサイクルされて、新たに燃料として活用されています。
(川上地域エコ活動委員会)

会務報告 会長

※=前田町内会館

- 11月11日(土) 10:00~ とつかエコフェスタ
(戸塚区総合庁舎)
- 11月11日(土) 11:30~ 東京下川会総会(銀座ライオン)
- 11月11日(土) 13:30~ 相和会定例会
- 11月12日(日) 9:00~ 焼き芋体験会(向山公園)
- 11月14日(火) 10:00~ 第十回九連合町内会ランド
ゴルフ大会(横浜FCグラウンド)
- 11月18日(土) 8:25~ アキスタ(秋葉小学校)
- 11月18日(土) 10:00~ 男の料理教室(※)
- 11月25日(土) 14:00~ 川上地区連合町内会役員会
- 11月26日(日) 15:00~ 役員会(※)
- 12月2日(土) 8:30~ 川上地区連合町内会役員研修会
- 12月3日(日) 12:30~ 役員部長会(※)
- 12月3日(日) 14:00~ 組長会(※)

今後の予定 会長

※=前田町内会館

- 12月11日(月) 13:30~ 消費者トラブル、詐欺に
遭わないための講座(※)
- 12月11日(月) 13:30~ 相和会定例会(※)
- 12月15日(金) 18:00~ 東戸塚街づくり開発委員会忘年会
- 12月17日(日) 14:00~ 防災委員会(※)
- 12月17日(日) 15:00~ 役員会
- 12月28日(木) 19:00~ 消防団激励式
- 1月5日(金) 12:00~ 戸塚区賀詞交換会(戸塚小学校)
- 1月6日(土)~8日(月祝) 冬の体験キャンプ(下川町)
- 1月6日(土) 10:00~ 戸塚区消防出初式(戸塚公会堂)
- 1月7日(日) 12:30~ 役員部長会(※)
- 1月7日(日) 14:00~ 組長会(※)

会員の異動(11月受理分) 総務部・広報部

<転入>



前田町物語 自然について

昭和の初めから三十年台の前田町は、自然がいっぱい残っていたいへんのどかな村里でした。夏になると山には山百合やなでしこが咲き、せみやきりぎりすがやかましいほど鳴いていました。平地は田や畑が多く、かえるがやかましいほど鳴いていました。どじょうはどこにでもいて、小川には鮒やめだかが泳いでいました。大きなウナギもときどきとれました。

品濃口から赤関橋までの川は、せきで深く水がたたえられていましたが、底が見えるほど澄んでいて、プールのなかった時代の子どものたのみの泳ぎ場所でした。学校では泳ぐことを禁じていましたが、子供達は学校の帰りなどもカバンを置いてこっそり泳いだといひます。

夜になるとほたるもよくとんできました。列車の窓から投げすてられている弁当がらなどの残飯をあさって夜になるとタヌキやキツネがうろついていたといひます。夜キャン、キャンというキツネの鳴き声を聞いたこともあります。また近所の家で何頭もタヌキを捕らえて、たぬき汁にして食べたという話も聞きました。

一ばん最近では、昭和四十三年、付近が開発されてしまったためか、百キログラムもある大いのししが突然大昌電気の庭にあらわれました。そこで社員が大勢出つかまえ味の素研究所にあずけたという話もあります。ともかく今から考えると夢のような自然の中の生活が長い間続いていたのです。(木内記)

編集注：昭和六十年頃会報に連載され、昭和六十一年十月に前田町町内会文化部がまとめた「前田町物語」を紙面に余裕のある時に再掲します。木内さんは、当時の前田町町内会長です。

「会報まえた」に関するご連絡は下記までどうぞ。
pr@maedacho.jp 竹内町内会HP <http://maedacho.jp/>
※町内会のホームページでは、これまでの町内会の活動や町内会館の利用について、入会・退会の手続きなどを確認いただけます